

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	登り保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成23年2月9日

総 評	<p>登り保育園は、宇治市の北東の京都市に隣接した旧村と新興住宅の入り混じった地域にあり、住宅開発が進み、待機児童が非常に多い地域に位置しています。地域の多様な子育てニーズに応え、社会福祉法人あけぼの会は、登り保育園を始め、児童館、子育て支援拠点事業など、多角的に子育て事業を展開しています。</p> <p>子どもたちは4つの保育目標①げんきに②なかよく③いたわる④やりぬくをもとに、遊びを通して様々な経験を積み重ね「生きる力の基礎」を養っています。その目標に基づいて、園庭には園長や職員の手作りによるのぼりモノレール・らいおんガーデン・オウルシャトー・ひだまり広場などの遊具や環境が整備されています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3・4・5歳児の異年齢児保育の充実が図られています。8クラス編成の中できょうだいグループを作り、子どもたちの相手を思いやる心、いたわり合う心を育てています。 ・ 「0歳から10歳まで預けて安心」とパンフレットに謳われているように、園長の強いリーダーシップのもと地域のニーズに的確に応えて、保育のみならず様々な子育て支援事業を展開しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の理念や方針同様、保育課程についても、利用者や関係者に周知を図られることが望ましいでしょう。 ・ 各種マニュアルは整備されていますが、不審者侵入時に対するマニュアルを定期的に見直しをされることが望ましいでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-2 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2 (2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育の理念・基本方針・保育目標は、児童憲章・児童福祉法・保育所保育指針の趣旨に則り、園のしおりやホームページにわかりやすく明文化され、広く公開されています。利用者に対しては園のしおりを配布し、行事等の機会があることに説明し、周知を図っています。また、職員に対しては会議等で説明し、周知を図っています。

・保育課程は、保育目標や保育所保育指針に基づいて編成されています。年間指導計画・月間指導計画は、保育課程に基づき作成され、子どもが主体的に育つよう配慮されています。保育課程の編成に関し、会議等で職員の意見を反映しています。保育課程に基づく指導計画は職員が会議をして作成しています。行事毎に保護者へアンケート調査を行い、保育の自己評価をする機会があります。なお、保育課程については、保護者等に説明されることが望ましいでしょう。

・園長を始め、主任保育士は園内の会議等で多くの指導や助言、情報発信を行うなど、積極的にリーダーシップを発揮しています。組織図や職務分担表等で、職員の役割を明確にしています。また、職員向けの情報誌を作成し、行政通知、規則や法令、会議の内容等の職員の共有化を図り、また、できる限り子どもの育ちをデータ化しようとする取り組みがあり、業務の効率化や改善に対する工夫努力が見られます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	A		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

・園長が社会福祉や保育に関する動向を常に把握し、事業計画に反映しています。
 ・園長は年に1度職員との個別面談を実施し、職員の意向・意見や就業状況を把握しています。また、その内容によっては、主任と協議し保育の現場に反映することができる体制が整っています。職員の健康管理についても、看護師を中心に積極的に取り組んでいます。
 ・職員の研修計画が作成され、職員は希望する研修に参加しています。研修終了後には報告書が作成され、職員が閲覧できるようになっています。また研修内容を職員会議で発表するなど内容の共有化に努めています。主任は研修成果に関する評価・分析を行い、評価・分析結果を次回の研修計画に反映するよう努めています。
 ・保育士養成校からの実習生を積極的に受け入れています。また実習に関するマニュアルも整備されています。
 ・高校生や中学生の体験学習を行い、ボランティアを積極的に受け入れています。地域子育て支援センター、一時預かり保育事業等を行い、地域との関係が確保されています。
 ・地域の関係機関や病院等の緊急連絡先を一覧表にするなど、職員間での情報の共有化が図られています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

・個人情報保護に関する規程を整備し、手引書を全職員に配布しています。

・苦情処理規程を整備し、苦情受付担当者、解決責任者、第三者委員の設置など、苦情解決の体制が整っています。苦情内容は記録され、職員は閲覧できるようになっており、情報を共有しています。意見箱は設けていませんが、行事毎に保護者への無記名のアンケート調査を実施しており、自由記述欄で意見を述べるできるようになっています。可能な場合は、アンケート内容を公表し、対応策等を全保護者に返答しています。

・今回は2度目の第三者評価です。他に第三者評価の評価者養成のための実習モデル園としての協力もしています。レベルを4段階に分けた独自の自己評価表を用いて、定期的に自己評価を行っています。

・家庭訪問を年1回行い、個人記録が整っています。個人観察は、乳児は毎月、幼児は学期ごとに所定の書式に記録されています。毎週の幼児会・乳児会、毎月の全体会議、他にリーダー会があり、子どもに関しての課題や対応の報告、検討がされています。また、保育に関する連絡事項は、連絡ノートに記録され、職員間での情報の共有化が図られています。

・園庭開放、親子クラブ、特別保育所体験等を通じて、子どもを持つ親を対象に施設を開放し、希望者には保育園の情報を適宜提供しています。保育園見学も随時受付けており、希望者に園内を詳しく案内しています。

・保育の利用に当たり、インターネット（ホームページ）に関わること、バスに利用に関わることなど、保護者の同意を得ています。

・転園の際、転園先から要請があれば、個人記録を提供しています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	B
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	B
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	B	B
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B

[自由記述欄]

・健康管理マニュアルは作成されています。朝の登園時、保護者は所定の用紙にその日の体調や配慮事項を記入して園に提出しています。
 ・看護師が子どもの健康管理はもちろんのこと、怪我や病気についても対処できる体制になっています。
 ・健康診断、歯科健診の結果は、全職員が共有するとともに、個人の健康記録ブックに記入後、保護者にフィードバックしています。
 ・幼児組は配膳が整うと放送が入り、グループ毎にランチルームで食事を摂ります。子どもが配膳準備にも参加できる工夫があると望ましいでしょう。
 ・メニューや調理の様子を、ほぼ毎日ホームページに掲載し、給食室からの情報を発信しています。
 ・異年齢児保育の積み重ねにより子どもが自分でできる、やろうとする気持ちを大切に、子どもの主体的な成長につながるよう心がけています。
 ・職業や遊びなどにおいて性差はしていませんが、時と場合によっては「男らしく、女らしく」と伝えることも必要と考え保育しています。
 ・障がい児のための保育では、宇治市の巡回相談を活用し、保育園でもケース会議を行っています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・年度初めに、新入園児は家庭訪問を、継続児には個人懇談を実施しています。保護者との情報交換は、乳児では毎日の連絡帳のやり取りを通じて行い、幼児では送迎時に要望などの受け付けをする職員を配置することで行っています。
 ・保護者参加の行事は、誕生会、おもちゃつき、親子遠足、合宿、運動会、保育・体育・給食参観などがあり、子どもの園での様子や育ち、育児の方法について共通の理解を得るための機会を設けるように努めています。
 ・虐待に関する研修や各機関との連携の仕組みがあります。
 ・一時預かり保育は「のぼりっこセンター」の2階にあり、一人ひとりの状態を把握し、ゆったりとした中で子どもが保育を受けています。

岡地

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

・事故防止などのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みは行っています。一方で、子ども自身が危険を感知し、回避する力を養うために、園長や職員は子どもが活発に遊ぶ様子を見守るよう心がけています。
 ・看護師によるケアやケガ、病気に関する統計データをとっており、子どもたちの能力向上による安全を心掛けています。
 ・不審者の侵入などのマニュアルが整備され、不審者侵入時の訓練も実施されています。マニュアルの定期的な見直しをされることが望ましいでしょう。